

INSPIRE No. 3

第2回ギフトッド教育カンファレンス2015

日時：3月28日（土）29日（日）

場所：東京都市大学

世田谷キャンパス1号館3階13Q,
13A, 13B

住所：東京都 世田谷区 玉堤 1-28-1

テーマ：ギフトッドをインスパイアする

ギフトッドの子供たちは「INSPIREされる」事が大切です。

「INSPIREされる」とは、人や物事から影響を受けたり、刺激を受けたり、奮い立たされたり、ひらめくきっかけを

もらったりする事です。将来、世界を創造していく

ギフトッドの子供たちはインスパイアされながら自分の才能を発揮していきます。

☆ 天賦の才能を持つギフトッドの子供たちとは？

☆ ギフトッドをインスパイアする術と傑作エピソード

☆ 学校・家庭での効果的な実践カリキュラムを紹介

☆ 才能を最大限に引き出す7つのキーワード

☆ 超楽観的ギフトッドの子育て論 などなど

お申し込みはコチラから

<http://jag2.peatix.com>



First Penguin Awardという言葉をご存知ですか。餌を求めてペンギン達は海に飛び込みますが、飛び込んだ先には必ずしも餌があるとは限りません。危険が待っている事もあります。ペンギン達は氷の端まで行きますが、その時、必ず最初に飛び込む勇気あるペンギンがいます。そのペンギンのおかげで他のペンギン達も飛び込む事ができます。飛び込み方が下手かもしれません。腹を思いっきり打っているかもしれません。でも、大切なのは「最初にやった」という事です。上手にできたかではなく、大切なのは「最初にやった」という事です。

このFirst Penguin Awardは誰も勇気がないのに、手を挙げて、最初にやった勇気ある人に与えられる賞です。最近、皆さんは自分にこの「First Penguin Award」を与え

る出来事はありましたでしょうか。子供たちに話す時、過去の経験から得た教訓を話していますか。それとも、現在

進行形で起きている出来事から学んだ事を子供たちに共有していますか。子供も大人も「新しい事」という機会の前では一人の人間です。同等の立場に立ちます。

- 今瀬博



ADOVOICE : アドボイスとはギフトッドのアドボケイターの方達の声です。

ADOVOICE 5 : 「成長の壁」

我が子の辛そうな顔はみたくない

我が子を苦しむところはみたくない

親が思うのは同じ。

でも

だからと言って障害物を全てなくし、険しい道避けと親が選択した道を歩むことが幸せだと言えるのでしょうか。

転ぶと危ないから、と小さな石ころを拾い道端にある岩を砕く。

せっせと我が子のためと思いながら道を整備し分岐する他の険しそうな道は選択させないことが我が子の幸せになるのでしょうか。

我が子の前に立ち、現れる動物たちから守り続けることがそれが我が子の成長を助けているのでしょうか。

それは自己満足ではありませんか？

つまづきそうな石ころを避け、転んだ時には自身で立ち上がる。

物陰にあった岩にぶつかっても自身で体制を整えてまた歩き出す。

分岐点に来た時には自分自身で歩む道を選択する。

選んだ道が行き止まりであったなら元へ戻って歩み出せばいい。

何度でも自身で考え自身で選択しやり直せばいい。
親ができることは見守ること
疲れて帰ってきた時に温かく迎えること

必要としてきたときは一緒に考えること

親自身の経験を伝えること

あなたの育児は育自になっていますか？

あなたの自己満足が我が子の成長を妨げていませんか？

自分の子供を信じてそのつないでいる手を放してみる勇氣を出しませんか？

我が子のために。M. H



コラム連載 第三回 徳川家康

最近歴史にはまっている。源平合戦、南北朝、戦国時代の権力争いを見ていると、その多くははずる賢い人が勝っている。しかし、どんなに頭の良い人でも自分一人では何もできない。どうしたら味方を増やせるか。恩賞という田畑をちらつかせるだけでは、簡単に裏切られる。何代にもわたって忠義を尽くす家臣をどう集めるのか。敵だった武将を裏切らない味方にするにはどうしたら良いか。これははずるさだけでは不可能である。

戦いでは作戦も大切だが、戦う前の方が重要である。婚姻や人質を使っの同盟などの戦略、心理戦、情報戦で優位に立った方が勝つ。そして歴史と共にその頭脳戦のレベルが上がっていった。源平、南北朝、戦国の順に頭脳明晰な武将の人数が増え、より勝ち抜くのが困難になっていったのだ。

戦国時代とは天下を取るための頭脳明晰な武将の勝ち抜き戦であった。それを勝ち抜いたのが、信長であり秀吉であり家康である。勝手な推測だが、3人ともgiftedだったと思う。頭脳明晰でなければ、弱小大名だった信長が天下統一にあと一步までこぎ着けるはずがない。

農民出身ながら賢さだけで出世した秀吉。そんな信長や秀吉から家康は常に一目置かれていた。それは家康の人格だけでなく頭脳への畏怖だったのだと思う。

では、信長、秀吉と家康で違いがあるだろうか。信長や秀吉がもっと長生きしたら、三百年間秩序を保つ体制を作る事ができただろうか。私は難しかったのではないかと思う。

信長は比叡山延暦寺で虐殺し、秀吉は関白にした甥秀次を切腹させ、その家族をさらし者にして処刑した。残酷な行為は必ず人の不信を生む。家康も聖人という訳ではないが、ここまで酷い事はしていない。だからこそ多くの家臣がついてきたし、敵だった武将が家臣になり、権力を維持出来たのだと思う。

giftedの人が様々な戦いを乗り越え、多くの人の信頼を勝ち得た時に、家康のような人になれるのだと思う。

ADOVOICE : アドボイスとはギフティッドのアドボケイターの方達の声です。

ADOVOICE 6 : 「出会えなかった家族にここで出会えた」

我が子がギフティッドではと言われたのは小学校に入学した直後だった。すぐ国立か私立に転校、もしくは海外に出した方がいいと言われて面食らった。

早期教育反対だった私が教材一つ与えずに過ごさせた幼少期。いつの間にか漢字や算数、英語、科学など独学ですめる我が子は誇らしくもあり、怖くもあった。

今考えると乾いたスポンジだったのだと思う。好奇心旺盛でアンテナが高く、法律や社会問題も含めてなんでも興味がある。人とユーモアが大好き。優しくて、人の気持ちがよくわかる。一見良いことのようにだが、待っていたのは生きにくさだった。

精神年齢が違いすぎる集団生活は壮絶である。クラスのお世話や仲裁係ばかりで疲弊する。お友達は悩みを相談してきたりするが、実年齢より早く来る悩みを自分が相談したり自分の話について来てくれる相手はいない。孤独感。人の気持ちが読めすぎるため自分を抑えて動けなくなる。自分の知的好奇心を刺激しない果てしない毎日。

どちらが悪いわけでもないのだ。同じ器に入れるしか選択肢がないのが問題なのだと聞いたのはどの先生だっただろう。

我が子の場合には成績に出るタイプなのが災いし、抱える苦しみを周りに理解してもらうことが難しかった。ありのままの自分を出すと浮いてしまう環境。自己肯定感はますます下がった。

いつもはみんなに合わせててもいいんだよ。でも、ほんのたまにでいいから僕の好きな話もしたいんだ。

我が子が苦しい胸の内を吐露したのは小学校2年生に上がる時だった。

学校もわかり切っている授業に合わせて真面目に取り組む子を不憫に思い努力してくれた。「お母さん、本当にこのままでいいのですか」と何度も聞かれた。

その度、いや屋も夜もそのことを自分に問いかけない日はなかった。この頃には刺激もメンタルサポートも足りず、2次被害が出ていた。

ギフティッドに詳しい先生や話があればどこまでも出かけて行き、少しずつ理解者を増やした小学校生活。最初はまだギフティッドと言う言葉も知る人も少なく、日本ではギフティッドを障害ありきで語る方もいるのに驚いた。

少しでも私達親子と同じ思いを抱える家族に出会えればと様々なイベントにも参加した。そのご縁で大学のセミナーに招いてくれたり、論文で取り上げてくれたりする方々にも出会えた。

全国イベントを始めたきっかけが、「地方で学校以外の選択肢がなく不登校になったり適応障害を起こすギフティッドチャイルドをすくい上げるため」と言う塾の話も伺い、様々な方が自分たちのできる角度からこの子達を何とかしようと関わってくれているという事を知った。決して一人ではないのだ。

海外より20年も30年も遅れていると言われている日本のギフティッドサポートの理解が深まることを願ってやまない。

海外に出ればすぐ大学が高校に入れるといってくれた先生も一人二人ではない。しかし、海外のギフティッド校も含めて高額な学費はハードルになった。

忘れられない記憶がある。検査のあとに言われた言葉。才能もあるし、人格も申し分ない。謙虚でひたむき、自分には出来る出来ると邪魔をしたり、いわゆる頭のいい子に見られる鼻につくところもない。年齢以上のコミュニケーション能力もある。この子は飛び級させると上手く行くタイプに見えるが横並び教育の日本では一生生きにくさがあるだろう。頭がいいことと幸せなことは別問題。この子のかわいそうなところは何も悪いところがないところだ。

また、特に障害傾向がない故に相談機関でも受け入れは難しく、通ってもいいけれど役にはたてないとのことだった。

何故、悪いところがないのに生きにくいのか。
何故、悪いところがないのに孤独なのか。
何故、悪いところがない子が苦勞するシステムなのか。
何故、問題を抱えているのに相談出来るところもないのか。

では、どうすればいいのか。

その答えがここにあった。
出会えなかった家族にここで出会えた。

ギフティッドチャイルドのサポートの仕方がわからない。
親の力不足で潰してしまったらどうしよう。
一人で悩みを抱えて眠れない夜。

大丈夫、一人ではありません。ギフティッドの子供達は好奇心旺盛で問題解決能力も高いです。

障害があってもなくても、成績に出ても出なくても、抱える問題の本質は変わりません。

素晴らしい資質と可能性を持った子供達が羽ばたいていけるようみんなで支えて行きましょう。C. Y

